

【構成について】

2) 高齢者分野		進捗状況の記号 ●…着手、実施中 ▲…取り組みが不十分	
	【成果と課題、今後の展望】(第3期改訂版より)	平成28年度の進捗状況	平成29年度の取り組み (計画の最終年度に向けて)
在宅サービスの事業展開	<p>普及啓発支援、介護技術指導や介護相談等については、介護保険事業にとどまらず社協内組織の横断的な支援機能や地域資源等を活かした事業展開の充実に向けて、継続して取り組めます。</p> <p>平成27年度の介護保険法改正を踏まえ、現在実施している居宅介護等事業の市社協が担う役割の再評価を行うとともに、変化する情勢に即応し、効率性および実現可能性の視点で、安定した事業の継続を目指して実施体制を構築します。「公的サービスでは解決できない地域課題の把握についての調査」において、把握した内容を戦略プラン8) 新たな課題に対応するコミュニティソーシャルワークへの取り組みで確認・精査します。</p>	<p>普及啓発事業は、無資格者を対象にホームヘルパーお仕事講座を各区で開催しました。また、介護予防・日常生活支援総合事業における訪問型サービスの担い手を育成するために介護予防訪問サービス(生活援助特化型)従事者養成研修への参加を促しました(担当/各区訪問介護支援事業所)。</p> <p>居宅介護等事業の具体的な実施体制は、戦略プラン1) 在宅サービス事業に位置付けています。</p> <p>平成28年度社協職員課題別研修において認知症ナポーター養成講座の内容を含めた研修を実施し209名が受講修了しました。(担当/企画経営担当)</p>	<p>斜線の部分は、担当課で取り組んでいることを表しています。</p>
包括的な取り組み	<p>地域包括ケアシステムについて、社協内研修の実施や地域包括ケアシステムに関する学習会へ参加し、情報を収集しました。高齢者にとどまらない地域包括ケアシステムの構築と推進に向けて、地域福祉を推進するうえでの社協の役割と使命等から、戦略プラン8) 新たな課題に対応するコミュニティソーシャルワークへの取り組みで検討します。</p>	<p>戦略プラン8) 新たな課題に対するコミュニティソーシャルワークへの取り組みに位置付けています。</p>	
施設と地域との協働した取り組み	<p>主な取り組みとして施設部会老人福祉施設協議会の制度施策検討委員会における調査研究、福祉従事者向け研修会や講習会を実施しました。情報交換の場として、市社協内に設置した部会連絡会を活用し、さまざまな福祉課題の情報交換を行い、地域と協働した取り組みを積極的に検討し、推進します。</p>	<p>社会福祉法人の情報・連携ネットワークの構築による地域貢献事業として、地域生活支援SOSかわさき事業の本格的な実施に向けて事前に調整委員会を設置し、具体的な事業の調整を行いました。実施体制については、8) 組織の発展・強化分野に記載しています。</p>	

平成28年度にどのように進めたかを記号で表しています。

●…着手、実施中

▲…取り組みが不十分